

2023 AUA Global Residents Leadership Retreat 参加報告

関 戸 崇 了 (岡山大)

この度、2023年4月28日から5月1日に米国 Illinois 州 Chicago で米国泌尿器科学会 (AUA) Annual Meeting 2023 が開催され、学会開催前日の4月27日に AUA が主催する Global Residents Leadership Retreat に参加させて頂きましたのでご報告申し上げます。

本プログラムは、泌尿器科の次世代リーダーの育成及び世界のレジデント間の交流を目的とした1日のプログラムです。今回が初めての開催であり、以降は隔年開催予定となっています。リーダーシップ研修に特化した内容で、今回は米国内から21名・海外から20名の各国代表のレジデントが参加し、JUAからは1名が派遣される運びとなりました。大変恐縮ながら、このような貴重な機会にご選定頂き、JUAの国際委員会の先生方に深く感謝申し上げます。

当日は様々な Lecture・Discussion・Workshop を通して、自身のリーダーシップの資質やコミュニケーションスタイルを認識し学べるように、朝7時30分から夕方

16時30分までタイムスケジュールが組まれておりました。今回はコミュニケーション教育に精通されている Bryan Yager 先生と Sarah-June Carroll 先生というお二方が、Special Facilitator としてレクチャーの講師やワークショップの進行役を務められました。プログラム中はできるだけ多くのレジデントがコミュニケーションを取れるように配慮されていました。

特に印象に残っている3つの Workshop を挙げさせていただきます。まず1つ目は、The Role of The Leader Exercises です。リーダーシップにまつわる5つの質問が用意され、レジデントは3~4人のチームに分かれ、質問に対する意見を挙げていきました。意見は壁に貼られた用紙に記入し、他の質問にも順番に記入していきました。全チームが全質問について意見を挙げた後、各チームは最初に割り当てられた質問の意見を振り返り、特に重要と思われる意見を3つに絞りました。最後にレジデント全員で各質問に対する意見を共有することで、より深く



写真1 The Role of The Leader Exercises



写真3 Sarah-June Carroll 先生



写真2 The Role of The Leader Exercises



写真4 Bryan Yager 先生

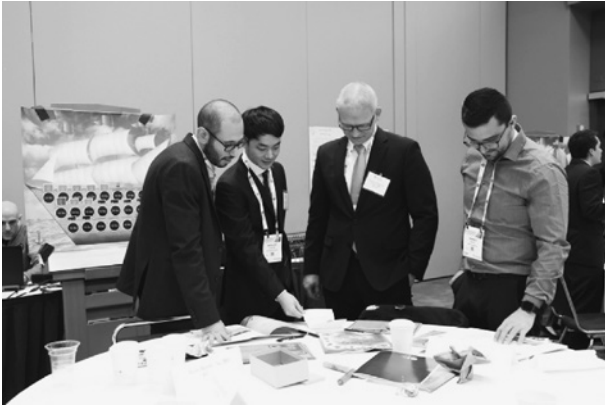


写真5 Journey for Jewels™ Simulation



写真7 Peer Consulting Team Discussions



写真6 Journey for Jewels™ Simulation 間の昼食



写真8 プログラム修了証の授与

考察することができました。自分はアメリカ、台湾、スペインの先生と同じチームになり、“レジデントがリーダーシップを発揮する際に直面する困難”に関する質問について主にまとめました。

2つ目は、Journey for Jewels™ という約2時間のシミュレーションゲームです。ルールが非常に多く文章でお伝えするのが難しいのですが、簡潔に申し上げますと、①レジデントを船の乗組員に見立て、4~5人のチームが編成される。②各チームは航海で目的の島へ向かいダイヤを獲得した後、自国に戻りダイヤを売って現金と交換する。③終了時に最も多くの現金を手にしたチームが勝利となる、というゲームです。その最中、時間的プレッシャーや予期せぬ課題に直面するため、効率よく協力し合わないとゲームオーバーになります。このゲームは、目標設定、リスク管理、戦略的思考、傾聴、意思決定、役割分担と説明責任、個人とチームの戦力活用、チームワーク、トラブルのマネジメントなど、多岐にわたる能力が求められるものになっていて、終了後に各チームや個人の行動やスキルについて、皆で振り返りました。自分はアルゼンチン、コスタリカ、デンマークの先生と4人のチームを組み、即興で役割分担しながら協力して課題をこなし、無事完遂できました。Workshopとフィー

ドバックの間には、一緒にランチを食べながら意見交換を行い、親睦を深めることができました。

そして3つ目は、Disc Styles and Individual Reflection & Peer Consulting Team Discussions です。DiSC® 行動分析アセスメントという、自身の動機・欲求を理解し相互理解を深め、人間関係と組織力を向上させるためのツールが使用されました。4つの行動特性(D, I, S, C)は“Dominance”, “Influence”, “Steadiness”, “Conscientiousness”の頭文字となっており、それぞれ“直接的で決断が早い”, “楽観的で社交的”, “思いやりがあり協力的”, “緻密で正確”なタイプを表しています。各レジデントは各々のタイプの強みと弱み、行動目標について学んだのち、他のレジデントとお互いのコミュニケーションのタイプについて話し合いました。自分は分析の結果、“Steadiness”タイプでした。Discussionでは“Dominance”タイプのメキシコの先生、同じ“Steadiness”タイプのアメリカの先生と意見交換を行うことができました。

他にも様々な内容のプログラムがあり、最後に修了証が授与され、集合写真を撮影し無事にプログラムが終了しました。様々なスキルアップを目指した今回のリーダーシップ研修プログラムは、自身のコミュニケーションのタイプを認識し俯瞰する絶好の機会となりました。



写真9 プログラム終了時の集合写真

そして世界中の選抜されたレジデントと交流し、繋がりを得ることができましたし、今後のグローバルキャリアの形成のための、本当に貴重な経験となったと感じております。優秀な世界中のレジデントと一緒に過ごし、大変刺激になったと同時に素晴らしい思い出になりました。

AUA 総会にも Global Residents Leadership Retreat 終了後に参加させて頂き、Residents Forum, Residents Bowl, Early-Carrier Investigators Showcase など様々なプログラムがあり大変勉強になりました。個人的には、昨年 JUA/AUA Resident Program に参加し Residents

Bowl に出場した際、チームリーダーを担当していた Kenneth A. Softness 先生と再会することもでき、大変嬉しかったです。日本や世界の先生方との再会、そして新たな出会いがあり、学会現地参加の醍醐味を改めて実感することができました。

最後になりますが、本プログラムにご推薦頂きました当教室の荒木元朗教授をはじめ、このような機会を与えて下さった日本泌尿器科学会前理事長 野々村祝夫教授、国際委員会前委員長 市川智彦教授、両泌尿器科学会事務局の方々にこの場をお借りして深謝申し上げます。